

も た に

母谷たつりの後援会だより

平成12年10月

発行 母谷たつりの後援会
編集 岡田 孝



9月定例会で質問する母谷議員

さて、9月18日から28日までの11日間にわたって平成12年第3回広島市議会定例会が開催され、37億8,894万円の補正予算案をはじめ、18件の条例案や報告等が上程され、それぞれ常任委員会審査で激しい議論が交わされましたが結果的に原案どおり可決いた

願いたい」旨の説明があり、原案可決いたしました。実施は平成13年4月1日から施行され、収集回数は、月当たり2回で「申し込み制戸別収集方式」となります。

また、9月17日（日）、五日市観音中学校において体育祭が実施された際、誠に残念な事件が発生いたしました。

それは、掲揚台に掲げられた日の丸がひとりの教師によって、午前と午後の2回にわたって引きずり降ろされたというものであります。この事件は教育現場や市民の信頼に与えた影響も大きいことから、去る10月6日、過去に前例がないほど厳しい処分が発表されることとなりました。21世紀の主角を担う子供たちの健やかな成長に対し皆様方の温かいお力添えを賜りますよう、心からお願い申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。 敬具

広島市議会議員 母谷 龍典

ごあいさつ

謹啓 最近では、朝夕めっきり冷え込む様になり、山々は、燃えるような紅葉の準備にとりかかっています。皆様方におかれましては益々ご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。

しました。なかでも今回は大型ゴミの収集を有料化するとの条例改正案も示され、一部では『不法投棄が増加する』、『市民への二重課税となる』などの反対討論もありましたが、「市当局としても財政再建途上であり、今後予測されるゴミ量の増加に対し、市民の皆様の絶大なるご理解とご協力をお

第3回広島市議会定例会 母谷議員

(平成12年9月18日～9月28日開催)

一般質問
抜粋

〈財政問題〉

Q 「財政健全化計画」では『今後200億円の財源不足が生じる』というがどのように解消するのか。また、新たな課税制度等財源確保をどのように考えているのか。

A 人件費や内部管理経費を抑制しながら投資的経費を毎年7%づつ縮減する。

また、課税自主権の活用については、本年6月に「広島市課税自主権研究会」を設置し、調査、研究を開始した。

Q 「財政健全化計画」の中で名目経済成長率を1.75%とした根拠は何か。広島市が主体的に独自の数値を何故、採用しないのか。

A 数値の根拠は、国の「財政の中期展望」で示されているものを採用した。

市税の伸び予測を全国平均並みの経済成長が見込めると判断した。財源となる地方

交付税・譲与税・各種交付金の大半が国税を財源とすることからも判断した。

Q 財政難と言うが広島市は自立できるのか。それとも国に対する依存体質なのか。今、広島市が日本国から独立したとしたらどうなるか。

A 平成10年度の国税収入額を基に人口按分等により推計すると税収入は4,800億円となり、病院事業や水道事業等の収入や自主財源の6,411億円を加えると1兆1,211億円となり、全会計の1兆1,155億円の当初予算を上回る。

〈環境問題〉

Q 将来のゴミ量増加予測に対し収集体制は将来どのようにするのか。民間に比べ直営では、その収集コストが2倍近く違うがどうか。

A 家庭ゴミの収集体制については、本市の行財政運営を効率的に進めていく必要があり、重要な課題であると認識している。現在、労使双方で「ゴミ収集体制検討委員会」を設置し研究している。

〈教育問題〉

Q 学校行事等において国歌「君が代」が歌えない子供がたくさんいるがきちんと指導しているのか。音楽教師を集めて研修会を行う必要があるのではないか。

A これまで社会科・音楽科・特別活動等において指導してきたが、さらに指導主事の学校訪問等様々な機会を捉え、指導、徹底を図っていきたい。

Q 教職員の人事異動について特に佐伯区では広域的な人事交流が疎外されている点や長期在職者の解消はどのように考えているのか。

A 広域的な人事については、地域や条件の異なる学校に勤務させ、多様な経験を積ませ資質・能力の向上を図る事が重要である。10年以上同一校在職者についても昨年度は全体で66.4%の異動を行った。今後とも全市的視野に立った幅広い人事異動を進めていきたい。

いい汗流そう!! いい笑顔つくろう!!

広島高速3号線(広島南道路)の概要

広島都市圏では、山陽自動車道・中国横断自動車道などの高規格幹線道路の整備に対して都市内の道路網の整備が遅れており、都市交通の高速性・定時性を強化する自動車専用道路網の整備が急務となっています。

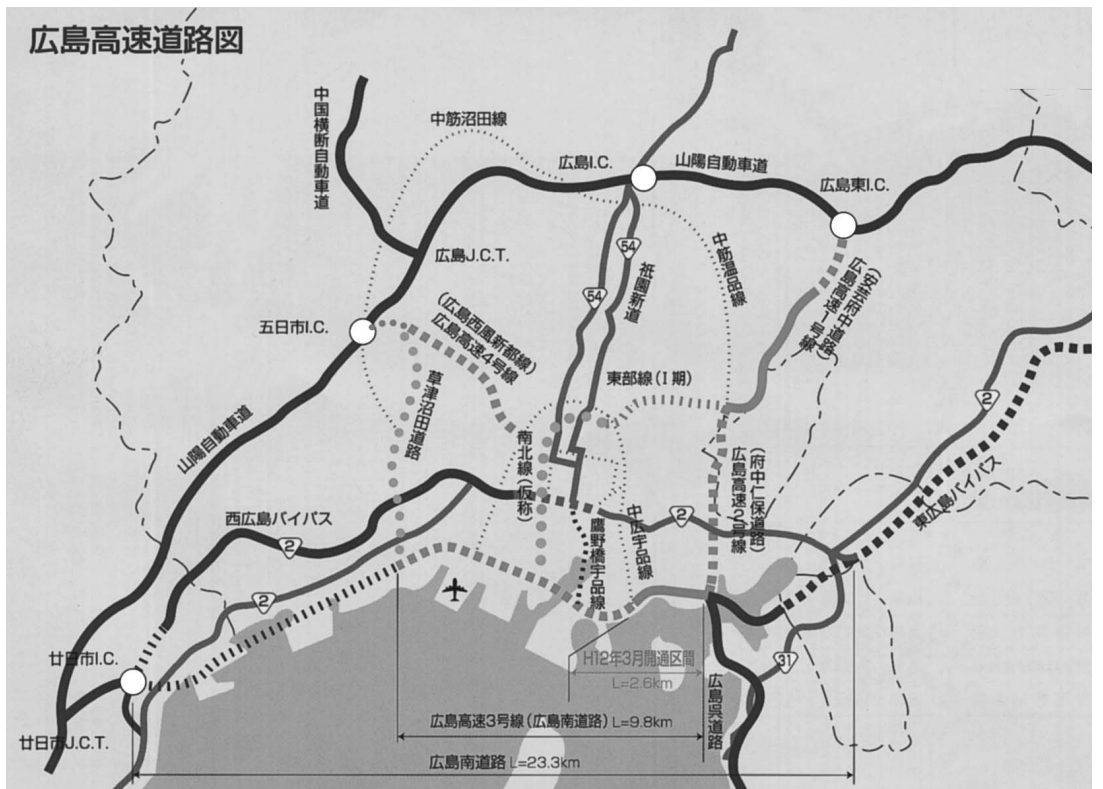
広島南道路は、広島県安芸郡海田町から廿日市市までの総延長23.3kmの主要幹線道路で、高架構造を基本とする自動車専用道路の部分と一般道路の部分とを併せ持つ構造となっています。

この広島南道路のうち、広島市南区仁保沖町から西区商工センターまでの自動車専用道路部(延長9.8km)は、広島高速3号線として指定都市高速道路事業により整備することになっています。

このうち南区仁保沖町(仁保ジャンクション)から南区宇品海岸三丁目(宇品ランプ)までの2.6kmの区間を平成12年3月に供用開始いたしました。

これが全線開通すれば広島西部圏域における慢性的な交通渋滞が大幅に緩和されるものと予測されます。

また、山陽自動車道と広島高速3号線



を結ぶ草津沼田道路(計画検討路線)は高速道路網を環状化するものですが佐伯区を広く取り込むルートを検討する必要があることから行政側に対し、このことを現在、強く要望しています。

凡 例	
広島高速道路	基本計画路線
	供用区間
	整備計画路線
	基本計画準路線
	計画検討路線

PHOTO REPORT

魚切地区 道路事業(上河内)



(県) 五日市筒賀線の法面崩壊の復旧が完了しました。

石内地区 吉舎津川河川工事(石内)



昨年の6.29災害で大きな被害をもたらしましたが谷止工の完成と河川の復旧が完了しました。

八幡地区 道路工事(利松)



昨年の6.29災害で河川側の道路法面が浸食被害を受けましたが改修されました。



八幡が丘団地急傾斜地崩壊対策工事(八幡が丘団地)

危険にさらされていた法面保護工事が完了しました。